

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

創ることから届けることまで、顧客のニーズにトータルに対応し、幅広い領域でのものづくりを通じて発展を続ける

経常利益率
7%以上

2 中長期の経営戦略

1. 複合化技術の活用

精密貼合技術を中心とした複合化技術を成長ドライバーとして活用し、成長が見込まれる事業領域に経営資源を投下

3. 研究開発の推進力化

研究開発を企業成長の推進力と位置づけ、複合技術の社内集約により新たな主力事業の確立を目指す

2. メカトロニクス技術展開

独自技術を開発・高度化できるメカトロニクス技術を活用し、ファクトリーオートメーション等の新領域に対応

4. 自動車部品事業展開

株式会社東陽社製作所を活用し、自動車部品業界への関与を深め、新たなビジネスの展開を図る

3 対処すべき課題

① 市場環境への迅速対応

- ・クロスボーダーでの商品開発・製造等の商流変化に機敏に対応
- ・車載・エレクトロニクス分野の標準化や商流変動への対応
- ・新興企業との競合や中国市場減速への対応

② 組織・人材体制の強化

- ・組織の体制検討による対応体制の構築
- ・市場動向の確実な把握
- ・人材の確保

③ 財務リスク管理

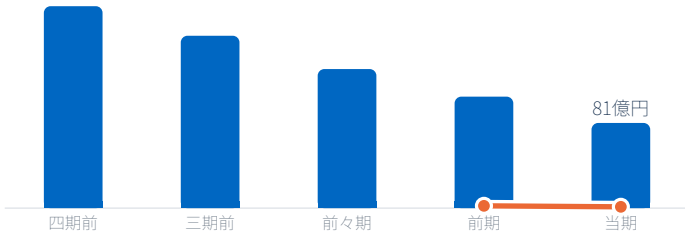
- ・経済環境の急変に備えた財務対応
- ・不測の事態に対応できる財務面での注意払い

面接で使えるポイント

- ・ディスプレイ関連事業を主軸としながら、クリーン・エコエネルギーやファクトリーオートメーション等…
- ・精密貼合技術とメカトロニクス技術を核に、複合化技術による複数事業領域への展開を進めている点
- ・株式会社東陽社製作所の活用により、自動車部品業界への新規事業展開を戦略的に推進している点

証券コード 4237

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

化学・素材業界に属する1982年設立の企業で、連結売上106億円

主力事業・セグメント

・化学（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
81億円営業利益率
▲1.0%財務健康度
36点／100点

将来性 雨／就活偏差値 35.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
491万円

化学内 198位/204社

平均年齢
38.2歳

化学内 189位/204社

平均勤続
12.3年

化学内 162位/204社

女性管理職
4.4%

化学内 128位/173社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: フジプレミアム(株)【4237】：決算情報

